

資料1 長周期地震動の階級区分の表現(素案)

長周期地震動による揺れの大きさを簡潔に表現でき、かつ、広く認知されている震度との混同を避け、かつ、文章や口頭などで共通に利用できる表現はどうあるべきか。

- 素案1、素案2の考え方:揺れの大きさの違いを表現やカラーで区別し、震度との混同を避けるため数字を使わずに表記する
- 素案3、素案4の考え方:揺れの大きさの違いを表現するため数字を用いるが、震度との混同を避けるため現象についての表現を加える
- 素案5の考え方:揺れの大きさの違いを表現するため数字を用いるが、震度との混同を避けるため頭文字を加える

階級 数値	素案1 現象の表現	素案2 カラーコード	素案3 現象の種別+階級数値	素案4 現象の表現+階級数値	素案6 階級値に頭文字 を付ける	素案5 委員より提案
(1)	やや大きな揺れ	黄 yellow	長周期地震動レベル1	大揺れ度1	LL1	長周期揺れ度1
(2)	大きな揺れ	橙 orange	長周期地震動レベル2	大揺れ度2	LL2	長周期揺れ度2
(3)	非常に大きな揺れ (委員より提案 かなり大きな揺れ)	朱 vermilion	長周期地震動レベル3	大揺れ度3	LL3	長周期揺れ度3
(4)	猛烈な揺れ (委員より提案 非常に大きな揺れ)	赤 red	長周期地震動レベル4	大揺れ度4	LL4	長周期揺れ度4

階級	カラーイメージ
1	黄
2	橙
3	朱
4	赤

前回検討会での事務局提案に、その後委員から頂いた提案を追加しました。ここで、検討して頂きたいのは、階級数値の項目にどのような表現を記入することが適当か、ということでございます。